

編集後記

第17号は、特集論説1本、自由論題論説2本が掲載されることとなった。本号の投稿論文の最終審査、編集作業を行っていた時期は、まさに新型コロナウイルスの感染が日本国内にも拡大し、不要不急の外出の自粛が求められ、大学の卒業式、入学式が中止になるという状況であった。さらにその後、政府による緊急事態宣言の発出により、大学への学生および教職員の入構が規制され、教授会等の会議はオンライン会議システムによって開催することとなり、前期授業の開始も約1カ月遅れ、大型連休前後から軒並みオンラインで行うこととなった。

企業家研究フォーラムの会員である大学等の教員の皆さまも、このような未経験の事態に直面し、使ったことのないシステムのダウンロード、オンライン授業のための教材づくりといった仕事に、嫌でも取り組まざるを得ない状況に身を置いていらっしゃると思う。

そんな中で、『企業家研究』の審査会議も、初めてZoomを活用したオンライン会議として実施した。これまで、大阪会場と東京会場に審査会議メンバーが集まり、2会場をSkypeでつないで会議を開催していたが、外出自粛の中、各自が自宅や研究室からZoomでつながり、会議をおこなった。結果、意外とスムーズに会議を運営することができた。今回はあらかじめ資料を添付ファイルで送っておいたが、システムにもっと精通すれば、画面上で資料を共有し、そこに審議結果を書き込んで共有することも可能であろう。論文や書評など、コンテンツはすべて電子ファイル化されているので、ジャーナルの審査・編集はまさにリモートワークに向いていると実感した。

このような状況下で、『企業家研究』における新たな試みがいくつか進んでいる。その中の一つは、論説の審査にご協力いただいたレフェリーの方々のお名前を巻末に掲載することである。いつもお忙しい会員の皆さま、時には当該分野を専門に研究されている非会員の研究者の方々に、無理を承知で査読をお願いし、ほとんどの場合、快くお引き受けいただいている。無報酬かつスケジュールもタイトな査読業務であるが、いつも丁寧に、的確なコメントをいただいております。心から感謝申し上げます。せめてもの御礼として、過去にご協力いただいたレフェリーの方々のお名前を掲載させていただくことになった。

新型コロナウイルスの感染拡大という「外圧」によって、企業や組織におけるリモートワークや大学におけるオンライン授業が一気に普及しているが、『企業家研究』は会員の皆様とともに、内発的にたゆまぬ発展を続けていければと考えている。

(鹿住倫世)

執筆者紹介 (五十音順、敬称略)

稲葉 祐之	国際基督教大学上級准教授
井上 真由美	高崎経済大学准教授
落合 康裕	静岡県立大学教授
加藤 雅俊	関西学院大学教授
島本 実	一橋大学教授
玉井 芳郎	同志社大学大学院博士後期課程修了
松原 日出人	千葉商科大学専任講師
山田 友理	日清紡テキスタイル株式会社
山田 雄久	近畿大学教授

編集委員名簿 (五十音順、敬称略)

委員長	田中 一弘	一橋大学教授
副委員長	江島 由裕	大阪経済大学教授
	鹿住 倫世	専修大学教授
	島本 実	一橋大学教授
	廣田 誠	大阪大学教授
委員	伊藤 博之	大阪経済大学教授
	稲葉 祐之	国際基督教大学上級准教授
	上野 恭裕	関西大学教授
	梅崎 修	法政大学教授
	大島 久幸	高千穂大学教授
	金 容度	法政大学准教授
	小阪 玄次郎	上智大学准教授
	佐々木 聡	明治大学教授
	佐藤 政則	麗澤大学教授
	新藤 晴臣	大阪市立大学教授
	杉山里 枝	國學院大学教授
	中島 裕喜	南山大学教授
	延岡 健太郎	大阪大学教授
	原田 信行	筑波大学准教授
	平野 恭平	神戸大学准教授

※2020年5月20日現在

『企業家研究』第17号

2020年7月1日印刷、2020年7月10日発行

発行所 企業家研究フォーラム

会長 山田 幸三

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町1-4-5

大阪産業創造館B1F

大阪企業家ミュージアム内

株式会社 有斐閣

東京都千代田区神田神保町2-17

印刷 大日本法令印刷株式会社

製本 長野県長野市中御所3-6-25

ISBN 978-4-641-49958-4 ISSN 2434-0316